

⑦【法勝寺地区地域振興協議会】
発表テーマ：「西伯小学校との交流について」

～法勝寺地区地域振興協議会～

旧西伯町の中心地域。住宅地から中山間地域まで幅広い形態を有する。地域内には役場、小中学校、保育園をはじめとする公共施設がある。

○法勝寺地区地域振興協議会
事務所：南部町公民館さいはく分館
設立：平成19年7月8日

【集落数：27】
人口 2,018名
世帯数 709世帯
高齢化率 33.7%
(平成27年11月末現在)



《 質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧 》

■農業体験について

No.	質疑	回答
1	学校の授業との連携なのか。それとも課外活動との連携なのか。	学校の授業との連携です。
2	農業体験に関わる大人は振興協議会関係者の方ばかりなのか。ボランティアの方がいるのならどの様に声をかけているのか。	地域づくり部の部員が中心ですが、小学校のコミュニティスクールの関係者の方も一緒に取り組みます。
3	小学生の農業体験の仲間は何人くらいか。	協議会の地域づくり部の部員が中心で、部員数は現在15名です。
4	農業体験の指導者の育成はどの様に考えているのか。	現在は地域づくり部の部長が中心となり指導しています。指導者の育成は今後の課題として考えていきたいと思っています。
5	農業体験の取り組みについて、学校(教員)との意見交換(ねらいの共有)、反省などは出来ているのか。	毎年4月に一度事業の取り組みについて話し合いをしますが、意見交換・反省は現状出来ておりません。農業体験実施中に改善すべき点や、それぞれの思いを話すという事はあります。
6	農業体験への保護者の参加はどうなのか。	授業内での活動という事もあり、保護者の参加はほとんどありません。
7	農業体験では地域の方も参画されているのか。	参画は小学校・コミュニティ・協議会でを行っています。
8	畑の管理は誰が行っているのか。	地域づくり部の加納部長を中心として、地域づくり部で管理しています。

《 質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧 》

■見守り活動について

No.	質疑	回答
1	子ども見守り活動について。毎朝朝早くから見守りを行っていらして頭の下がる思いです。このような取り組みを続けてこられた秘訣を教えてください。	朝の見守り活動はコミュニティの皆様方が中心です。協議会としての見守り活動は毎週水曜日の下校時見守りと、同じく毎週水曜日の青色パトロールです。この取り組みが続けられている秘訣はただただ見守り活動に参加していただいている皆様のおかげです。暑い時も寒い時も皆様が駆けつけてくれ、中には当日飛び入りで参加される方もいます。皆で見守りをしていこうという気持ちが地域全体に流れているという事ではないかと思えます。
2	青色パトロールは一日も欠かさずやっているが全て協議会事務局なのか。	青色パトロールは毎週水曜日に活動しています。参加して下さる方は協議会事務局以外です。皆様のご協力のお陰で欠かさずの活動出来ています。
3	青色パトロールは協議会役員以外の方ほどのくらいいるのか。	現在参加者は14名です。協議会役員以外は9名です。
4	毎日防犯パトロールを続けることはかなり負担になっていると思うが、負担軽減のためどのような工夫をしているのか。	見守り活動は毎週水曜日に活動しています。毎日ではないですが週1回でもかなりの負担かと思えます。そのため青パトは運行表を作成し、お1人が月に1回程度当番になる様にしています。また小学校前での活動は、自由参加としており、参加できる日に参加していただくという形をとっています。
5	見守りパトロール(青パト)は16人で毎日実施なのか隊員に負担感はないのか。	現在は14名で活動しています。当番制にし、なるべく負担を軽減するようにしています。

■その他(農業体験・見守り活動両活動への質問、

No.	質疑	回答
1	コミュニティースクールとの連携はどうしているのか	学校内にコミュニティの担当者がおり、そちらを通し連絡を取り合いながら連携しています。
2	コミュニティースクールと地域振興協議会の取り組みの役割について。	特に決め事はなく、協働で行うという考えを基本にして活動しています。
3	こうした小学校との交流事業企画で、コミュニティースクール・PTA・父兄との関わりはどの様に参加要請などを行っているのか。	学校の担当者とは常に連絡を取り合っているため関わるという点では学校を主体としています。ですが、年度初めに学校主催の連絡会が必ず開かれていますので、そこで各々と協議する機会をいただいています。
4	PTAとの連携は子ども見守り活動以外にあるか。	特にありません。
5	小学校との交流で苦労した点は。	農業体験は天気次第ですので、特に稲刈りの場合は雨が降ると日程を調整する事が難しく苦労します。
6	交流事業を続けて来ての失敗談はあるか。	特にありません。小学生との交流は私達も、楽しく活動させていただいています。
7	西伯小学校との交流で、(数値でも)具体的な目標はあるか。	これからも続けて行きたいという目標はあります。続けることが大事だと思っています。
8	各種ボランティアスタッフの確保はどうしているのか。	ボランティアは特におらず、協議会の部員等で活動しています。
9	活動に関わる人を増やすためにどのような働きかけをしているのか。また実働しているのは何人くらいか。	地域づくり部・総務企画部が中心となって農業体験・見守り活動を行っていますが、他部の部員にも参加の働きかけをしています。活動内容により異なりますが、農業体験では常時10人前後の方が参加してくれています。
10	西伯小学校との交流を参加しない地域の方はどう思っているのか。	参加しない地域の方の意見をお伺いしたことがありません。
11	小学校児童は他協議会から通う児童もいるが、他協議会と連携して行っているのか。	現在は特に行っておりません。
12	協議会に対して無関心の方をどう活動に引き込むのか。	皆様に関心を持っていただける様な活動にしていければと思っています。

質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧

No.	質疑	回答
13	学校行事を通した子ども達との関わり以外に、地域の人たちの子ども支援の取り組みはあるのか。(見守り以外に)	通学路の除草・除雪作業を行っています。
14	小学生との交流の中で高齢者との関わりはどうされているのか。	バウンスボール大会・グラウンドゴルフ大会・運動会は三世代交流を目的にした事業で、その中で小学生と高齢者の交流を図っています。
15	各地区とも高齢化率が上がっているが、協議会としてどの様に考えているのか。	高齢化率の問題は地域福祉の観点から協議会としても強い関心を持っています。敬老会を開催したり、お正月用にお餅を配布したりという事業を現在行っていますが、今後は見守り活動も行えるようにしていきたいと考えています。
16	小学校がある振興協議会という事で学校関係の事業が集中すると思うが、なぜ自分たちだけという様な事はないのか。	その様な事はございません。小学校行事の本当に一部ですが、子ども達と関わっていくことは協議会としてとても有意義な機会だと思っています。
17	独自の活動はどの様なものがあるのか。	それぞれの部で主体的に活動を行っています。総務企画部では防犯・防災活動、生涯学習部では地区運動会・魚つかみどり大会、地域づくり部では田んぼアートふれあい部では敬老会・餅つき大会などを行っています。これら事業を協議会全体で協働しています。
18	児童の農業体験以外にどの様な活動をしているのか。	小規模多機能自治組織として4つの部(総務企画部、生涯学習部、地域づくり部、ふれあい部)を組織し、それぞれ多様な取り組みを行っています。詳細につきましては下記の「法勝寺地区地域振興協議会 各部の1年間の事業内容(平成27年度)」をご参照ください。
19	この取り組みは町づくりに繋がっているのか。	繋がっていると確信しています。
20	人口・集落数が最も多い協議会の長所・短所とは。	長所や短所を考える事はせず、協議会として地域の皆様に出来る事をしていこうという考えを元に活動をしています。
21	費用等のやりくりはどうしているのか。	交付金の範囲内での活動をしています。
22	外との交流はするのか。	南さいはく地域振興協議会と米子法勝寺町との交流を行っています。

質 疑 回 答 ・ 助 言 一 覧

■助言(町内)

No.	助言
1	こういう安心の地区に住みたいと思う方は多いと思います。取り組みを見てもらう機会を作りたいです。
2	地元の良さを伝えることを西伯小学校コミュニティースクール・河畔クラブ・他団体と一緒に連携する。
3	学校を有する地区だから出来るケース。うらやましく感じた。他の取り組み状況を知りたかった。

■助言(町外)

No.	助言
1	減少している人口をこれからどの様にしていくのか。取り組みをお願いします。
2	多様な層の人が関われるように、(時間)部会などの時間を工夫してみてもどうか。
3	農業体験や見守りパトロールを続けられ、地域の子どもは地域で育てるという活動は今後も是非続けてください。
4	子育て事業は重要と考えます。他職種・高齢者との交流が教育に有用だと思います。
5	農業以外の自然・歴史・文化まで幅広い地域資源を子どもに伝えて、地域に誇りを持ってもらうことが重要。
6	植え付け・収穫だけではなく料理教室も行い、食育教育を充実されたら良いと思います。
7	各イベント等は良くて悪くても反省会を開き、良いは伸ばし、悪いは考えていく。

■学んだこと(感想)

No.	学んだこと
1	子供の笑顔。働くことでの喜び。ゲームばかりでなくて安心。
2	西伯小学校の子ども達は良い経験をしていますね。素晴らしい。これからも継続よろしく願いします。
3	地域で食農教育。日本農業の原点を活かしての取り組みに法勝寺地区の真骨頂を見た。減少な児童たちと共に学校のある地域の前向きさに尊さとたくましさを学んだ。
4	子育てがしやすい環境づくり。住民と学校の取り組み。勉強になりました。